

## 記者発表資料

平成27年4月3日  
国土交通省三陸国道事務所  
岩泉町

### 復興道路の発生土を復興まちづくりに活用

～復興支援の一環として現場発生土を復興まちづくりに有効活用します～

国土交通省三陸国道事務所では、震災の復興支援の一環として整備中の三陸沿岸道路・尾肝要普代道路で発生する土砂を、岩泉町が施工中の「公立学校施設災害復旧事業（岩泉町立小本小学校及び小本中学校）」に提供し、地域の復興事業を積極的に支援していくこととなりました。つきましては、以下の日時により現地にて報道機関向け説明会を行いますので、お知らせします。

【日 時】平成27年4月7日（火）10：30～（30分程度）

【場 所】下閉伊郡岩泉町中島字長内及び小本字南中野地内…別紙図を参照

○岩手県沿岸地域の公共事業に伴う建設発生土については、国・県・市町村と調整し、それぞれの事業間で有効活用を図ることとしています。

○その調整に基づき、岩泉町より土砂提供の要望があった岩泉町立小本小学校及び小本中学校の災害復旧事業に、三陸沿岸道路（尾肝要～普代工区）の道路工事からの発生土約9千m<sup>3</sup>を提供し、屋外運動場等の表土材に活用します。

○東日本大震災により被災した小本小学校と小本中学校は、移転復旧する方針により、現在三陸鉄道西側移転地（別紙図を参照）での校舎・屋内運動場、プール、屋外運動場等の復旧工事に着手しており、平成27年度での完成を目指しています。

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会各社》

#### 問い合わせ先

##### 【土砂提供・概要説明会に関すること】

国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所

〒027-0029 宮古市藤の川4-1 電話 0193-62-1711（代表）

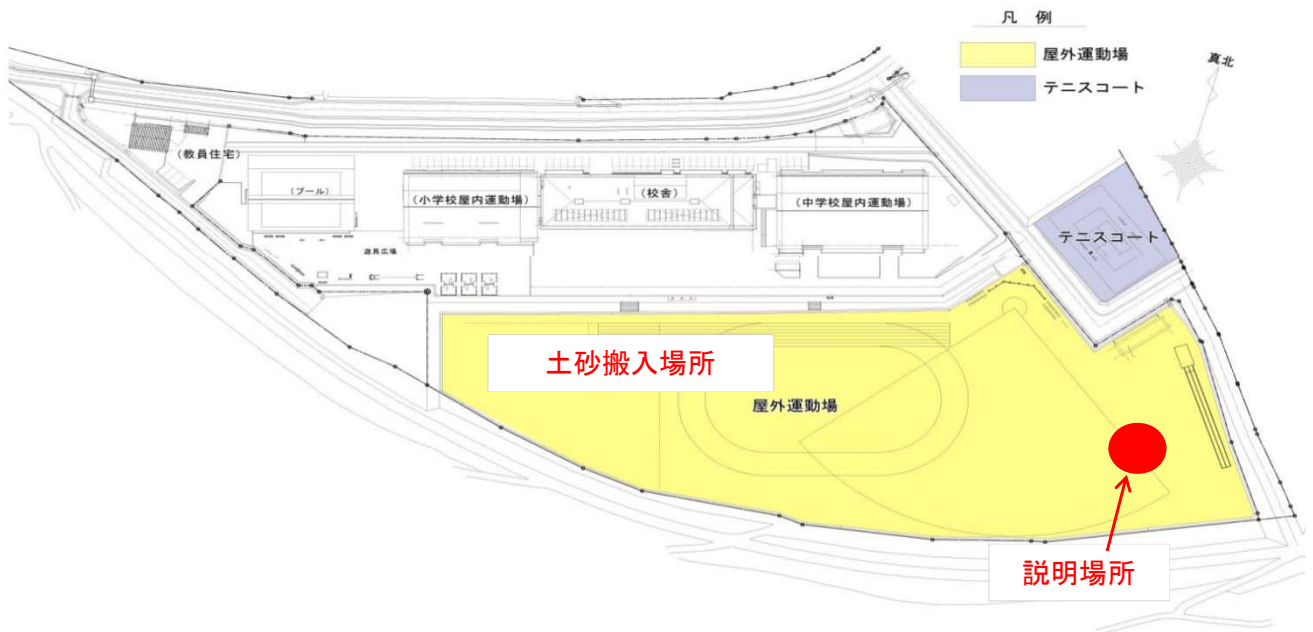
副所長 平岡 弘志（内線204） 建設監督官 山内正興（内線501）

##### 【公立学校施設災害復旧事業に関すること】

岩泉町教育委員会学校教育室

〒027-0595 下閉伊郡岩泉町岩泉字松橋21-1 電話 0194-22-2111（代表）

室長 三上 訓一



説明場所付近は工事中により、進入路がわかりにくいので、誘導案内看板を設置しています

# 小本小学校・中学校土砂提供報道機関説明会

## 次第

平成 27 年 4 月 7 日（火）

10:30～（30 分程度）

小本小中学校運動場

1. あいさつ・・・岩泉町長
2. 小本小学校・中学校災害復旧事業説明・・・岩泉町
3. 三陸沿岸道路からの土砂提供説明・・・三陸国道事務所
4. ダンプからの土砂投入

# 公立学校施設災害復旧事業

## 岩泉町立小本小学校及び小本中学校（外構及び屋外運動場等）移転復旧整備工事

### ◎工事概要

#### 1. 敷地規模

■建設敷地	35,972.04 m <sup>2</sup>	（うち 屋外運動場 17,825.28 m <sup>2</sup> ）
■菜園敷地	101.77 m <sup>2</sup>	
■テニスコート	1,448.53 m <sup>2</sup>	
計	37,522.34 m <sup>2</sup>	

#### 2. 計画建物

■校舎	鉄筋コンクリート造	4階建	延べ床面積 4,600 m <sup>2</sup>
■小学校屋内運動場	鉄骨造	1階建	延べ床面積 920 m <sup>2</sup>
■中学校屋内運動場	鉄骨造	一部2階建	延べ床面積 1,392 m <sup>2</sup>
■プール	鉄骨造	1階建	延べ床面積 803 m <sup>2</sup>
■教員住宅	木造	2階建	延べ床面積 180 m <sup>2</sup>



完成予想図

# 尾肝要普代道路（尾肝要～普代） L = 8 km

## 路線概要

三陸沿岸道路「尾肝要普代道路(尾肝要～普代)」は、田野畑尾肝要から普代村第11地割を結ぶ約8kmの自動車専用道路です。

現道の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により救援物資の輸送拠点となる久慈港と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

平成26年度は、用地買収等を進め、改良工事、トンネル工事を実施予定です。

## 計画諸元

	尾肝要普代道路 (尾肝要～普代)
起 点	下閉伊郡田野畑村尾肝要
終 点	下閉伊郡普代村第11地割
延 長	8km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h

